

チョーライ病院で脳神経外科、耳鼻咽喉科、脳血管内治療に関するセミナーが実施されました

筑波大学附属病院では国立国際医療センターが主催する医療技術等国際展開推進事業を実施しており、今年度の事業名は「チョーライ病院への医療技術協力と南部ベトナム省病院への普及のための卒後教育強化」でチョーライ病院、ホーチミン医科薬科大学、近隣地方の省病院に協力しています。今年で4年目の採択となりますが毎年テーマを決めてセミナーを開催しており、今年度は標記セミナーを実施しました。脳神経外科には脳血管内治療も含めて長年協力しており、最近耳鼻咽喉科との協力による頭蓋底腫瘍の内視鏡科手術の指導にもあたっていることから総合的なセミナーを計画し、12月19日チョーライ病院において実施されました。筑波大学附属病院からは脳神経外科の松村明先生、松丸祐司先生、阿久津博義先生が、耳鼻咽喉科からは田中秀峰先生、柳園昴太先生がそれぞれの専門分野の発表を行い、国際医療センターから秋山稔先生も参加しました。参加者はチョーライ病院、ホーチミン市の病院、南部ベトナムの省病院から合計125名でした。ベトナム側からも脳神経外科、血管内治療、耳鼻咽喉科に関する発表があり、双方で15題の発表があり、それぞれの経験を共有でき、また協議も行い今後の司法も含めたベトナムの当該分野の発展に寄与することと思われま。また、年間4万例以上の手術症例を抱えるチョーライ病院の規模は規格外で、若手医師が多くの症例を見学・経験する場としても有効であることが示唆されました。



セミナーでの集合写真



松村先生の発表



松丸先生の発表



田中先生の発表



阿久津先生(Discussion)



柳園先生の発表



秋山先生の挨拶